



埼玉医科大学医学部 同窓会会報

第65号

平成27年12月



巻 頭 言

副会長 伊 藤 彰 紀



同窓会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会活動にご協力賜り感謝申し上げます。

さて、台風 18 号の影響で関東や東北で記録的な豪雨が降り続き、本年 9 月 10 日の午後には茨城県常総市の鬼怒川の堤防が決壊し、大規模な水害に見舞われたことは皆様にも記憶に新しいことと思います。同窓会としまして、栃木県と茨城県の同窓生の安否が心配となり、事務局よりそれぞれの県の支部長さんに連絡を取り、皆さんの動向をお聞きしましたが、幸いにも何れの県の同窓生も大きな被害を受けていないという情報を得て安堵致しました。異常気象による水害とは言え、今回も自然災害に弱い日本のインフラがまた露呈した形になりました。

さて、大学に残っている同窓生として、最近の話題を幾つかご紹介致します。

まず、平成 27 年春の叙勲受賞者として、名誉理事長の丸木清浩先生が「旭日重光章」を受章されました。大変おめでたい事であり、同窓会からも心よりのお祝いを申し上げます。本年 5 月 30 日には帝国ホテルにおいて「丸木清浩先生旭日重光章受章祝賀会」が荘厳かつ盛大に挙行政され、ご来賓の菅義偉内閣官房長官を始め、600 名を超える方々が出席されました。「旭日章」は社会の様々な分野における顕著な功績を挙げた方に送られる章であり、埼玉医科大学の創立より関わり、多くの医師や看護師などの医療従事者の育成や、埼玉医科大学病院グループの地域医療への功績を称えられ、今回の受章となったことがご報告されました。丸木清浩名誉理事長先生の今後の益々のご健勝ならびにご多幸をお祈り申し上げます。

さて、今年は我が同窓会にとって新たなスタートの年となりました。本年 6 月の同窓会総会において、2 期 8 年会長を務めた渡辺雄幸先生（3 期生）が引退され、稲葉宗通先生（4 期生）が新会長となりました。初代会長の相木七良右エ門先生から数えて 3 代目の会長となります。それに伴い、副会長は従来からの田中政彦先生、丸木清之先生、伊藤彰紀に加えて、辻美隆先生（11 期生）が推挙されました。稲葉宗通会長

は創設当初より同窓会に係わっているベテランの先生ですので、多くの皆様に顔馴染みと思います。今までの路線を踏襲し、さらなる同窓会の発展のために新たな試みも積極的に行いたいという所信表明がありました。同窓生の皆様には新しい稲葉会長を頂点とする同窓会の発展にご協力賜りたく、切にお願い申し上げます。

ところで、埼玉医大国際医療センターの最近の話題は、国際的な医療評価機関である JCI（Joint Commission International：本部は米国シカゴ）に応募し、見事にその認証を受けることが出来たことです。日本ではこの度の国際医療センターを含めて 13 施設のみで、さらに今回の認定証は大学病院が対象のより難易度の高い Academic Medical Center 部門であり、大学病院では国内初めてという快挙でありました。埼玉医大のレベルアップに大きく貢献するものであり、小山勇病院長を中心に、病院スタッフ全員の大変なご努力に心より敬意を表したいと思います。

次に、毛呂山の大学病院の話題としては、旧医大マンション（1 階にスーパーまるたけが入っていた県道沿いのビル、最後は 6 年生の勉強会室になっていました）が建て替えられ、来年 3 月に大学病院の東館として竣工致します。急患センター（ER）、総合診療科を始め、現代の患者ニーズに合った診療を目差す、大学診療の新たな拠点施設として同窓生の皆様も是非ご注目していただきたいと思います。

埼玉医大医学部の同窓生も 3600 名を超え、様々な分野で多種多様な活躍をされています。同窓会組織を特別視する必要はありませんが、同窓生がお互いに情報交換をし、協力しながらお互いの医療活動を活性化させて行くことも可能と思いますので、是非同窓会をお役立て頂ければと思います。そして、大学は開学 50 周年に向けて事業計画を進めています。後輩達が学ぶ大学と卒業生が支えている大学病院へのご協力も引き続きよろしくお願い致します。

末筆ながら、同窓生の皆様のご清栄を心よりお祈り申し上げ、同窓会報の巻頭言とさせていただきます。

お 知 ら せ

落合記念賞研究助成金の公募について

第27回落合記念賞研究助成金（若手研究者による、医学上将来性に富む研究に対して、1件100万円を上限として毎年3～4件を対象に助成）を下記の通り公募致しますので、ご希望の方は所定の申請書をご提出下さい。

第27回落合記念賞研究助成金応募要項

- 1) 申請資格者
埼玉医科大学医学部同窓会会員（但し、教授・准教授・医学部学生は対象から除外する。）で、平成28年4月1日現在40歳未満の者とする。
- 2) 研究者
個人または複数であっても構わない。協同研究者が申請者の所属と異なっても構わない。
- 3) 研究期間
原則として2年以内に研究成果が得られる研究であること。
- 4) 申請に必要な書類（4～5枚1組）
＊申請書－所定の書式用紙〔3枚、7)に該当する者は4枚1組〕に記入のこと。

＊推薦書－所属学科長ないしは科長、またはそれに代わる者を推薦者として、所定の書式用紙に記入のこと。

- 5) 申請期間
平成28年1月15日～3月31日迄の間に、上記の申請書類一式を埼玉医科大学医学部同窓会事務局に提出のこと。
- 6) 助成金について
助成金は最高100万円までとする。
授与式は同窓会総会で行う。助成金の交付方法その他については、受賞者に総会終了後説明する。
なお、研究継続が不可能となった場合には、直ちに同窓会会長に報告するとともに、未使用額の助成金は同窓会に返納しなければならない。
- 7) その他
申請の研究と同一とみなされる研究で、既に他の助成金の交付を受けている場合、あるいは申請中の場合には、申請書（4）にその内容を明記し提出のこと。なお、同一の研究題目で既に他の助成を受けている場合は、なるべく応募をご遠慮下さい。

海外留学奨励助成金の公募について

医学部同窓会では、正会員の海外留学を支援するために、助成金の公募を行っています。募集要項及び助成金申請書をご希望の方は、同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

* 申請資格

埼玉医科大学医学部同窓会正会員で、1年以上継続して医学研究のため海外留学を予定し、応募前年度までの年会費を完納している者。

* 募集期間（毎年）

前期 2月1日～7月31日

後期 8月1日～1月31日

開業記念品贈呈について

埼玉医大卒業生の皆様の開業をお祝いして、同窓会記念品（ブロンズ製古鏡文鎮）をお贈りいたしております。すでに開業（新規に限らず、会員にとって新規とみなされるものは全て対象となります。例えば、親の病院・診療所等の事業の引き継ぎ他）をなさっておられる方、また近日中に開業を予定されている方にもご連絡をいただければ、早々に発送の準備を致したく存じます。

記念品の加工処理の問題もありますので、下記要領によりご申請いただくようお願い申し上げます。

なお、開業1件のみが対象となりますが、贈呈当該年度までの会費が完納されていることが条件となりますので、ご確認の程宜しくお願い申し上げます。

〔申請内容〕

開設者氏名：

卒業年：昭・平 年

（同窓の方と結婚されている場合には、お2人の名前と卒業年を併記して下さい。）

施設名：

所在地：

電話番号：

FAX：

開業年月日：昭・平 年 月 日

備考：

上記の内容を記載の上、事務局宛ご連絡下さい。
葉書、FAX 等何れでも結構です。